

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第1回運営委員会

令和6年6月12日(水)





次第

1. 開会あいさつ

2. デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

- ① 令和6年度の各種取組スケジュール
- ② データ連携基盤に係る取組
- ③ 令和6年度 浜松デジタル・スマートシティMONTH
- ④ ソリューションピッチ&ミートアップイベント
- ⑤ Well-Beingに係る取組
- ⑥ 講師派遣制度
- ⑦ その他（ウェビナーシリーズ、デジタル技術活用支援事業）

3. 2構想1計画の改定

4. 各委員からの取組発表

開会あいさつ

委員長（浜松市副市長） 山名 裕



会議進行上のお願い

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- **オンラインでの参加者**

「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。

- **現地参加者**

テーブルのマイクにてご発言ください。

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組



令和6年度の各種取組スケジュール



令和6年度の各種取組スケジュール

6

項目		2024年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会 会員との連携			●第1回運営委員会					●第2回運営委員会			第3回運営委員会●	
	官民連携PF ピッチ・ウェビナー					●ウェビナーⅠ		●ソリューションピッチ		●ウェビナーⅡ		●ウェビナーⅢ	
	データ連携基盤 運用機能追加												
	データ連携基盤の 活用促進			参加募集									▲成果 発表会
	MONTH事業					冠事業募集選定	周知	マンス	●オンラインフォーラム				
	Well-Being アワード					募集	選考		●結果発表・表彰式				
	地域共助型 デジタル技術 活用支援事業												
	庁内連携			★第1回本部会議					★第2回本部会議			★第3回本部会議	
	OASIS (Well-Beingに基づく 政策デザイン研修)			★第1回講義	★第2回講義	★第3回講義	★第4回講義	★第5回講義	★第6回講義	★市長報告会			
II MaaS	モビリティサービス 推進コンソーシアム			●第1回会議					●第2回会議			第3回会議●	
	ドローン利活用 推進部会				●第1回部会			●第2回部会				●第3回部会	

令和6年度の各種取組スケジュール

項目		2024年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅲ デジタル・ガバメント	フロントヤード・バックヤード改革	行政手続きのオンライン利用率・満足度の向上											
		キャッシュレス決済の運用											
		書かない窓口システム運用・アジャイル改善											
		フロントヤード改革プロジェクトチームの発足、継続的な改善の取り組みと拡大の検討											
	庁内データ分析基盤	庁内データ分析基盤実証環境の構築											
		運用											
	デジタルを活用した業務改革	データ利活用・分析人材育成											
		重点取組業務の選定・改革											
	DX人材育成・活用	各所属における業務改革（重点取組業務以外の業務）											
		DXメンター育成・活用											
Ⅳ デジタル・マーケティング	AI等先進技術活用	AI議事録の運用、生成AIの活用等											
		LTEモデルChromebookを活用したテレワークの実証実験											
	相談支援	月1の定例相談会											
		★合同説明会											
	人材育成	★ワークショップ											
		★セミナー											

条例・各種計画

- ・浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例
- ・浜松市デジタル・スマートシティ構想
- ・浜松市版MaaS構想

- ・浜松市デジタル・マーケティング戦略
- ・浜松市DX推進計画

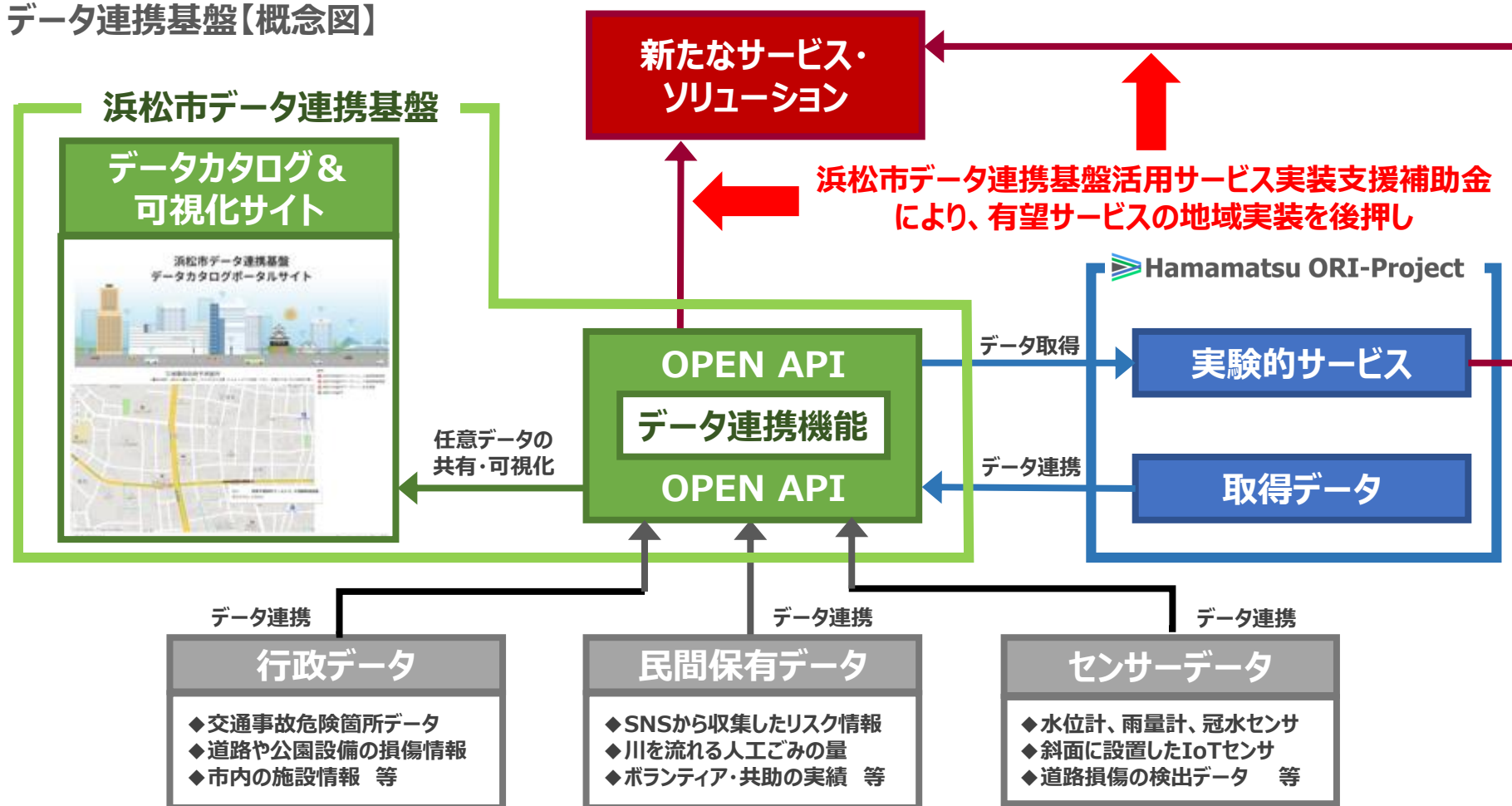
データ連携基盤に係る取組



浜松市データ連携基盤の概要

- データ連携基盤は、データの翻訳と認証送達機能を核とし、分散して存在する多種多様なデータの「ハブ」となり、「データの流通・連携を促進」する機能をもった基盤
- 浜松市は、令和4年度末に本番運用環境のデータ連携基盤をSaaSとして導入し稼働

データ連携基盤【概念図】



浜松市データ連携基盤の連携データ

※一部のデータは一般提供していません。

Digital Smart City
HAMAMATSU

現在連携されているデータ



AI分析によって導き出した市内の
交通事故発生危険箇所データ



市の冠水頻発エリアに設置された
冠水センサや**水位計**の観測データ



河川水面の動画解析により推計した
河川を流れるごみの量のデータ



市内の斜面に設置された計測器の
観測データ（**土砂災害の監視**）



市内の障害者施設などで検知された
笑顔のデータ（場所、回数、時間）



作業中の林業従事者の位置情報
（**林業従事者の安全確保**）



車載カメラとAI分析によって検出した
道路損傷箇所のデータ



SNSの投稿等からAIで収集した**市内
の災害・事故リスク**情報



市民の投稿による**道路や公園設備の
損傷情報、不法投棄の通報**情報など



市内で行われた**ボランティア活動の
実績**データ



共助型**地域交通の運行**データ



市内の河川付近の水位計や雨量計
の観測データ（**水害発生**の監視）

今年度連携予定のデータ



中心市街地の**人流**データ



複合センサの観測データ
（**気温、CO2濃度、混雑度**等）



市内の**盛土箇所**データ



市内の**スポーツ・文化施設等の予約
実績**データ

Hamamatsu ORI-Projectの概要

- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの 構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行う
- ・ 令和2年度からスタートし、令和5年度までに23件の実証実験を支援

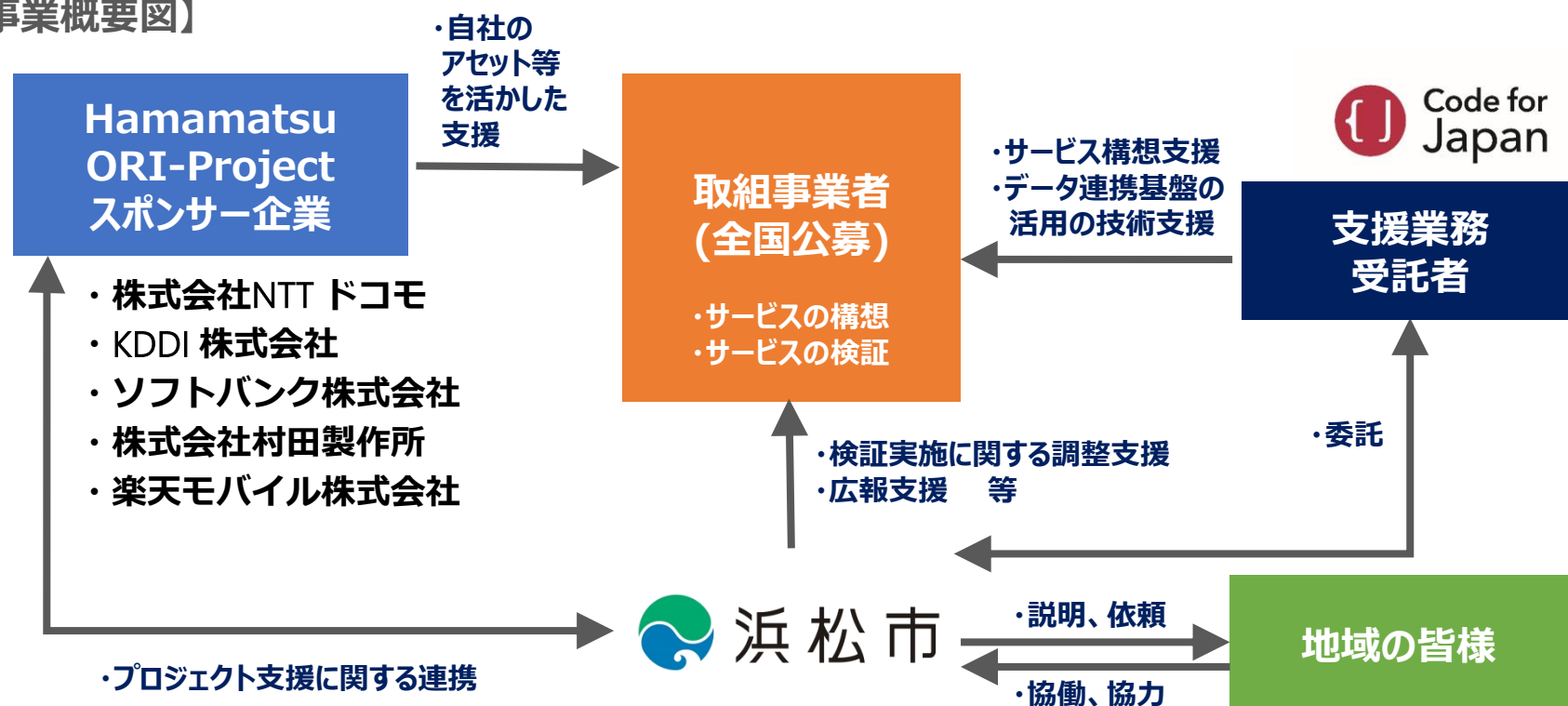
Hamamatsu ORI-Project (Hamamatsu Open Regional Innovation Project)

正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創

【事業概要図】





今年度も昨年度と同様に、次の3つの取組を並行して実施

Hamamatsu ORI-Project

1 地域課題解決型

浜松市データ連携基盤を活用した地域課題の解決策の検証

浜松市の各部門から提示された課題テーマについて、浜松市データ連携基盤を活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における実証実験を支援します。

今年度は、データ連携基盤に既に接続されているデータを活用する案件に限り、具体的な課題テーマに対応していなくてもエントリー可能とする「接続データ活用枠」を設けます。

2 スポンサー協業型

浜松市データ連携基盤を活用したスポンサー企業との協業促進

Hamamatsu ORI-Project スポンサー企業の提示する浜松市データ連携基盤を活用する協業テーマについて対応可能な事業者を公募し、スポンサー企業と連携して実証実験を支援します。

3 “データ・フュージョン・キャンプ2024”（仮称）の実施

浜松市内でのハッカソン、データ連携基盤のオンライン研修や開発されたプロトタイプの継続フォローアップ等を組み合わせた継続的なサービス開発実践プログラムを実施します。

浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金



- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に対する補助制度
- 令和4年度から開始し、令和5年度までに7件の活用実績

目 的

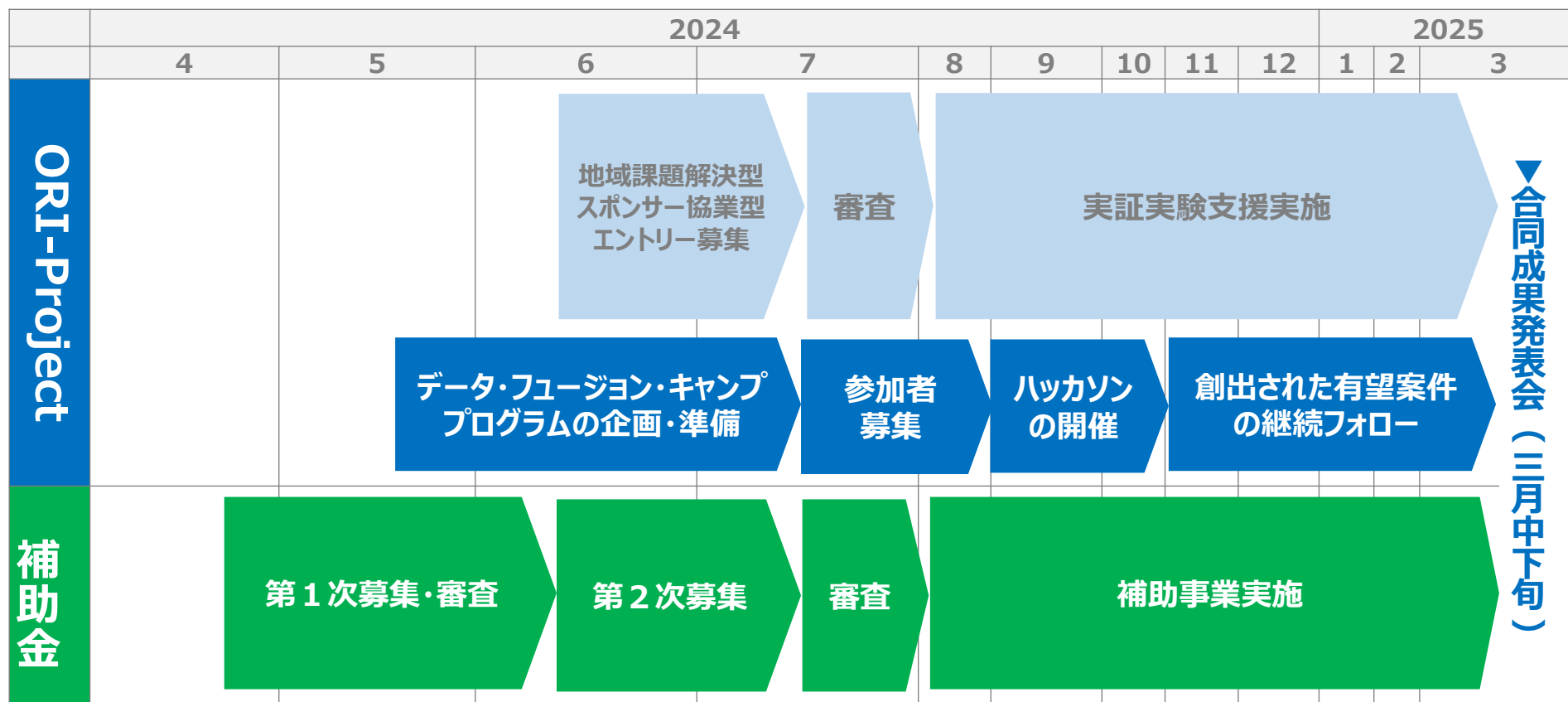
本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民QoL（生活の質）の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

事業概要

- データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- 補助金額は、補助上限額200万円/件、補助率2/3以内。

令和6年度 データ連携基盤活用促進事業のスケジュール

- Hamamatsu ORI-Project（地域課題解決型・スポンサー協業型）のエントリー募集と浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金の第2次募集を6/12(水)（本日）から開始
- 地域課題解決型・スポンサー協業型の支援対象企業には、データ・フュージョン・キャンプへの参加を促す
- 令和7年3月中下旬に合同成果発表会を開催予定



令和6年度 浜松デジタル・スマートシティ MONTH





浜松デジタル・スマートシティMONTH

MONTH事業の目的

- ・ **デジタル・スマートシティ** の理念や趣旨の **普及・浸透** を図る。
- ・ 先進技術を活用したサービス等に、**市民** の方が **触れる機会** を設けることにより、
「デジタル・スマートシティ浜松」推進の **機運** を **醸成** する。

実施期間

令和6年 **10** 月

※ 国デジタルの日は、令和6年10月6日、7日

実施内容

- ・ **冠事業** の実施
- ・ **オンラインフォーラム** を **10** 月 **22** 日に開催
- ・ 令和5年度創設 **「はままつWell-Beingアワード」** 結果発表及び受賞式

今年度も企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを冠事業として募集

事業目的

市民の皆様に“**デジタル・スマートシティ浜松**”を身近に感じていただき、一緒に浜松の未来を考えていく機会とする。

募集事業 (予定)

以下のすべてに該当する事業

- **デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー**
- 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- **令和6年10月**に行われる事業
- **浜松市内**で行われる事業
- 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

募集 スケジュール (予定)

- **募集期間** 7月～8月上旬
- 事業審査 8月
- 事業周知 9月～



ソリューションピッチ&ミートアップイベント



ソリューションピッチ&ミートアップイベント（交流会）

官民連携PF会員間の連携促進等を目的に、ミートアップイベントを開催

事業目的

官民連携による地域課題の解決や、官民連携プラットフォーム会員間の連携促進

事業内容

開催時期 令和6年秋ごろ

今後、会員の皆様に参加募集予定！（ピッチ登壇者、一般参加者）



昨年の様子 参加会員32団体！！

Well-Beingに係る取組



出前講座（ウェルビーイング）

市民の皆さんとともにWell-Beingを踏まえたまちづくりを考える機会を創出

出前講座

講座：デジタル・スマートシティって何？～デジタルで“繋がる未来”を共創～

- 「デジタル・スマートシティ」って何？
- デジタル活用で私たちの生活はどう変わるの？
- 地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴 NEW!!**

申込方法

- デジタル・スマートシティ推進課へメール等で申し込み
- 詳細は下記の浜松市公式ホームページをご覧ください。

令和6年度出前講座～“浜松市”のココが知りたい～

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shiminkyodo/civil/kyoudou/demaekoza/index.html>

地域幸福度
Well-Being 指標

ダッシュボード 指標について知る 使いこなす 個別調査をする

ログイン

地域幸福度（Well-Being）指標の活用

人々の『心ゆたかな暮らし』へ。

地域幸福度（Well-Being）指標とは、市民の『暮らしやすさ』と『幸福感（Well-being）』を数値化・可視化する指標です。

Well-Being指標の活用へ4つのAction

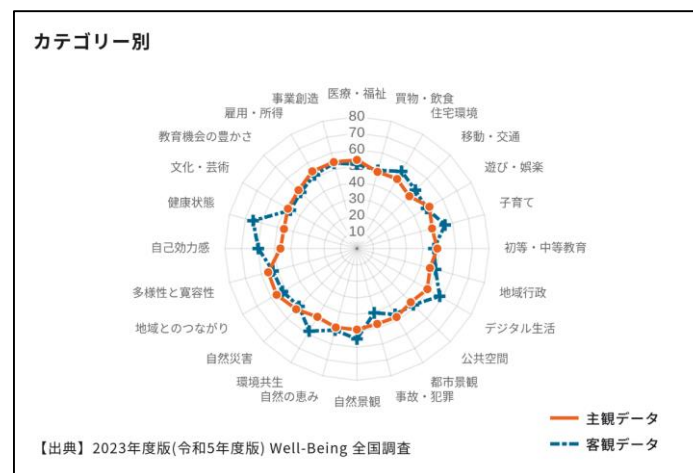
1.ダッシュボードを見る

2.指標について知る

3.指標を使いこなす

4.個別調査をする

↑



出所：デジタル庁 デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用（<https://well-being.digital.go.jp/>）

静岡大学アイデアソン・データソン（ウェルビーイング）

教育・研究機関と連携し、若者を巻き込んだまちづくりを推進

開催概要

- 日 時** ①5月18日（土）アイデアソン（※）、②6月1日（土）データソン（※）
- 場 所** 静岡大学浜松キャンパス
- テーマ** 私たちの幸福感（ウェルビーイング）について
オープンデータを使って考えてみよう！
- 参加者** 静岡大学・静岡文化芸術大学の学生 など
- 講 師** 一般社団法人シビックテックラボ 代表理事 市川博之 氏
- 座 組** 主催：静岡大学情報学部、共催：浜松市

（※）「アイデア」「データ」と「マラソン」をかけ合わせた造語。決められたテーマに則って、ひたすらアイデア出しやデータ作成を行うことで、これまでに無かった新しいアイデアやサービスを生み出す取り組み。



ソーシャルインパクトファイナンス勉強会の開催

官民共創をファイナンス面で強化していくことを検討するため勉強会を開催

背景・目的

- 健康・医療や介護分野を中心に、官民連携の手法としてPFS（ペイ・フォー・サクセス）が活用されている。一方、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）の活用は、限定的。地域の金融機関において、SDGs・ESG 経営支援の文脈でPIF（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）が活用されている。
- デジタル田園都市国家構想推進の一環として、今後、地域のWell-Being 向上や人口減少下の**地域幸福度（Well-Being）指標活用**の取組が進んでおり、**Well-Being向上のインパクト評価への指標の活用**が期待される。
- 持続可能なまちづくりに向け、**官民共創をファイナンス面で支える仕組みを検討**するため勉強会を開催する。

（１）講師：南雲フェロー、東洋大学大学院 客員教授 藤木先生

（２）開催概要

令和6年5月8日 庁内向け勉強会

参加者：浜松市の関係部署

主な内容：PFS・SIB、地域インパクトとWell-Being指標活用等

令和6年5月14日 金融機関向け勉強会

参加者：静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫

主な内容：PIF、地域インパクトとWell-Being指標活用等

勉強会の概要

はままつWell-Beingアワード2024

浜松市のWell-Being向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

募集対象

企業や団体の**Well-Beingに関する取組を顕彰**し、もって企業や団体の取組を促進することで、**浜松市民の幸福感向上**を図る

はままつWell-Beingインパクト賞

浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、地域幸福度(Well-Being)指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの

はままつWell-Beingデザイン賞

浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの

表彰の種類

事業

スケジュール

募集期間	5月31日～8月20日
選考	9月
表彰式	10月



はままつWell-Beingアワード2023表彰式の様子

市職員向けWell-Being人材育成プログラム（OASIS）

市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策立案手法等を学ぶ

概要

- 目的** ウェルビーイングの概念や指標の測定方法の理解し、ロジックツリー等を使って
市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策をデザインできる人材の育成
- 内容** 全6回のプログラム、プログラム実施後の市長への発表を実施予定
- 講師** （一社）スマートシティ・インスティテュート専務理事、浜松市F10- 南雲岳彦 氏
- 受講者** **計13所属**
「こども・子育て世代のWell-Being向上」をテーマに対象所属を決定
 国際課、創造都市・文化振興課、スポーツ振興課、こども若者政策課、
 子育て支援課、幼保支援課、産業振興課、ウエルネス推進事業本部、教育総務課
 教育施設課、指導課、教育支援課、上下水道総務課



6月3日第1回OASISの様子

講師派遣制度



官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

官民連携プラットフォーム会員

※ **13 団体（14 講座）** 5/29時点

- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介



2024年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講師募集											
派遣先募集											
開催											

講師派遣制度

講座一覧 (令和年5月29日時点) ※団体名50音順

No.	講座名	講師団体
1	デジタル技術の変革による生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ)	遠鉄システムサービス株式会社
2	スマート林業の現状と今後の展望	静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター
3	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社
4	モバイル通信と防災のお話し	株式会社ドコモソリューションズ 静岡支店
5	ドローンの未来について	株式会社トラジェクトリー
6	食農分野での取り組みと静岡のワサビ産業への 取組（データ活用）のご紹介	西日本電信電話株式会社（NTT 西日本）
7	e-Sportsをトリガーとしたコミュニケーション促進	西日本電信電話株式会社（NTT西日本）
8	未来の街のオンライン見学	日本電気株式会社
9	身近な課題をデジタルで解決する	認定NPO 法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ
10	浜松市のスマート農業	浜松スマート農業推進協議会
11	地理情報（GIS）	株式会社フジヤマ
12	産業分野におけるイノベーション創出とDX	リンクウィズ 株式会社
13	自分のまちのデジタル防災マップを作ろう	RainTech 株式会社
14	ICT を考える	特定非営利活動法人 六星・ウイズ



令和6年度第1回講師派遣

日時

令和6年6月14日（金）

会場

静岡大学教育学部附属浜松中学校

対象

同中学校 中学2年生生徒

講師

リンクウィズ株式会社

テーマ

「産業分野におけるイノベーション創出と DX」

産業分野におけるイノベーション創出と製造現場でのデジタル・トランスフォーメーション、アントレプレナーシップについて、講座を実施。



その他（ウェビナーシリーズ）



ウェビナーシリーズ

目 的

各分野の取組を紹介することで **分野間連携** を **促進** する

対 象

どなたでも 視聴可能（無料）

スケジュール

第1回

オンラインフォーラム

8月

第2回

12月

第3回

2月

7月

9月

10月

11月

1月

その他（デジタル技術活用支援事業）



デジタル技術活用支援事業

地域に根差したデジタル技術相談人材を育成し、地域共助型の相談体制を構築

実施内容

- 対象地域：天竜区の4地域（龍山、春野、佐久間、水窪）
- 地域の中でデジタル技術相談人材の候補者を選出し、育成研修を実施
- 地域で定期的なスマホ相談会を開催する中で、育成したデジタル技術相談人材が相談会にサポーターとして参加



各地域の取組状況と令和6年度の取組

水窪	令和4年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
春野	令和5年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
佐久間	令和5年度に、デジタル技術相談人材の育成および住民向けのスマホ相談会を実施。令和6年度も引き続き、デジタル技術相談人材にサポーターとして参加いただきながらスマホ相談会を開催予定。
龍山	令和6年度から取組を開始予定。

2構想1計画の改定



浜松市デジタル・スマートシティ構想

デジタルを最大限活用し、官民共創で
「市民QoLの向上」と「都市の最適化」を目指す。

《デジタル活用の観点から 分野横断的な取組の指針》

浜松版MaaS構想

ヒト・モノ・コトをモビリティで繋ぎ、
持続可能な都市を目指す。

浜松市DX推進計画

デジタル・ガバメント（電子行政）
や官民のデータ活用を効果的に推進
する。

2 構想 1 計画の概要

● 浜松市デジタル・スマートシティ構想 / 浜松版MaaS構想

2020年度（2021.3）策定 計画期間：2020～2044年度

- ・本市の最上位計画である総合計画（計画期間：2015～2044年度）に基づく個別計画
- ・デジスマ構想は、デジタルを活用したまちづくり推進条例に基づく施策の基本指針
- ・両構想が2024年度で第1期の期間が満了となることから、第2期（2025～2029年度）を策定
※総合計画の第1次推進プラン（基本計画）も2024年度で期間満了

● 浜松市DX推進計画

2022年度（2023.1）策定 計画期間：2022～2024年度

- ・浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第2項に基づく計画
- ・官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定する市町村官民データ活用推進計画として位置付け
- ・2024年度で現行計画の期間が満了となることから改定（改定後：2025～2029年度）

2 構想 1 計画の改定スケジュール

年度		2023		2024												2025	
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
会議等	推進本部	● ・スケジュール等			● ・スケジュール ・総括 ・改定方針等						● ・案報告						
	市議会					●総務委員会 ・スケジュール ・総括 ・改定方針等					●総務委員会 ・案報告						
	その他		●官民連携PF運営委員会 ●モビリティサービス推進 コンソーシアム ・総括 ・第2期に向けた展望等		●官民連携PF運営委員会 ●モビリティサービス推進 コンソーシアム ・スケジュール ・総括 ・改定方針等						●官民連携PF運営委員会 ●モビリティサービス推進 コンソーシアム ・事前に案を提示し意見聴取						
		●フェロー意見聴取(デジスマ構想、DX計画) ・第2期に向けた展望等				●フェロー意見聴取(DX計画) ・第2期案				●フェロー意見聴取(デジスマ構想) ・第2期案							
資料作成等		第2期案の作成									デザイン、印刷等					施行	

浜松市デジタル・スマートシティ構想 の改定について



第1期の主な成果

- デジタル・スマートシティ推進の基盤となる「浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例」及び「浜松市DX推進計画」の制定・策定。
- スマートシティ実現に向けた官民連携の推進体制である「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」の設立及び会員拡大。
(2024.5.15現在 224団体)
- データ連携基盤の活用における実証から実装への仕組みづくり
ORI-project > 実装支援補助金 > トライアル発注
- デジタル・ガバメントや安全・安心、教育・子育て等各分野におけるデジタル活用の取組の推進



重点取組分野の改定

① Well-Being 向上や取組の体系化を意識した整理

- ・安全・安心や健康など、生きていくうえで必須となる「土台」と、心豊かな暮らしや持続可能な地域づくりに向け取り組む分野を、Well-Beingの向上を意識して体系化する。

② 浜松の特長を活かした取組の強化や、分野間の一層の連携

- ・音楽文化やものづくり産業、国土縮図型都市のフィールドなど、浜松の強みを一層活用していく。
- ・第1期で各分野のデジタル活用が一定程度進展したことから、これらをベースに第2期では、分野間の取組の連携を一層促進し、相乗効果や付加価値を生んでいく。

③ 企業・団体や若者の取組を一層活発にするための環境強化

- ・ベースとなる企業・団体、若者の活動量が多いなかで、それらをより拡大するための支援（マッチングや連携促進等）の強化。
- ・教育・研究機関との連携を通じた、若者世代の巻き込みの強化。

浜松版MaaS構想



第1期の全体総括

成果

- ・ 構想推進のための官民連携組織として浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムを設立
会員の拡大124団体（2024.5.1時点）
- ・ ドローンの利活用に関する報告書を取りまとめると共に、ドローン利活用推進部会を設置
- ・ 春野医療MaaSの実証実験から、地域支援看護師を活用したオンライン診療を実装
- ・ モデル地区（庄内）における共助型交通の導入



コンソーシアムでのワークショップの様子



第2期の重点分野と基盤づくり（案）

- ・重点分野「健康・医療・福祉」「生活インフラ」「ウィズ/ポストコロナ」「防災・安全」
 - ・基盤づくり「エコシステム構築」「データ利活用」
- について、これまでの取組と課題を総括した上で、新たな視点や動向を加味し修正を行う。

	第一期	第二期
重点分野	健康・医療・福祉	ウェルネス・医療・福祉
	生活インフラ	交通・物流
	ウィズ/ポストコロナ	産業・観光
	防災・安全	防災・安全
基盤づくり	取組の具体化	
	エコシステム構築 ・経済循環やマネタイズを意識した取組の支援 ・圏域を超えた連携（三遠南信等） データ利活用 ・拠点や観光地間の移動・人流データの活用 ・取組の評価や方向性検討への活用	

浜松市DX推進計画



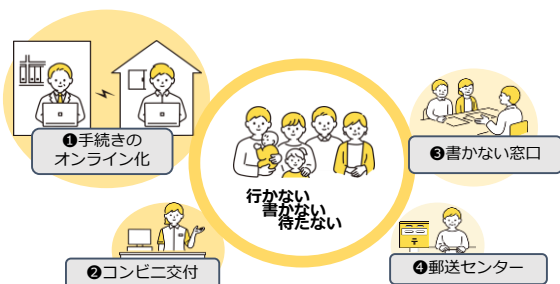
第1期総括

取組内容、成果等

- ・マイナンバーカードの交付率が8割を超え、デジタル社会の基盤としての環境整備が整った。

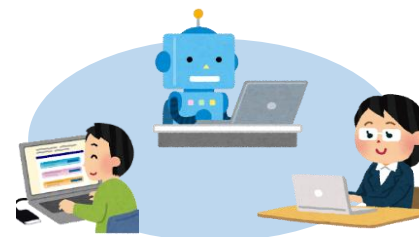


- ・これに伴い、行政手続きオンライン化の推進や書かない窓口の導入、コンビニ交付の利用率向上が達成され、住民接点の多様化・市民サービス向上を実現した。



今後

- ・ 今後は、多様化した住民接点とバックヤードの**全体最適化**が求められる。



- ・ 行政課題の複雑化や社会変化に柔軟に対応するためには、業務改善活動により生まれた時間を新たな改善につなげる**好循環のロジック**を庁内に理解・浸透するとともに、

職員のエンゲージメント向上

や働きやすい職場づくりを推進する必要がある。





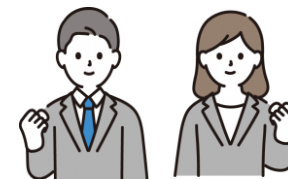
第2期の方向性

①改定方針

マイナンバーカードの交付率が8割を超え、デジタル社会の基盤としての環境整備が整ったことから
 今後はバックヤードも含めた全体最適化、職員のエンゲージメント向上や働きやすい職場づくりを推進する。

②目指す方向性／取組事項の体系

- ・ 「目指す方向性」は現行の方向性を踏襲する。
- ・ 「取組事項の体系」に「エンゲージメント向上（貢献意欲・働きがい）」の要素が不足しているため、新たに追加する。



第一期

目指す方向性

人に寄り添ったデジタル活用
 ～安全・安心、便利で快適な市民サービスの実現～

デジタル活
用による市
民サービス
の向上

自治体の生
産性向上

第二期

目指す方向性

人に寄り添ったデジタル活用
 ～安全・安心、便利で快適な市民サービスの実現～

デジタル活
用による市
民サービス
の向上

自治体の生
産性向上

職員のエン
ゲージメン
ト向上（貢
献意欲・働
きがい）



第2期の方向性

③取組事項の体系／取組項目(イメージ)

第一期

【デジタル活用による市民サービスの向上】

- ① 行政手続きのオンライン化の推進
- ② 書かない窓口の推進
- ③ キャッシュレス決済の推進
- ④ 電子契約・電子請求の推進
- ⑤ 情報発信や相談等のスマート化
- ⑥ デジタルを活用したコミュニケーションのUD化
- ⑦ デジタル活用のサポート
- ⑧ オープンデータ化の推進
- ⑨ マイナンバーカードの普及及び利活用
- ⑩ セキュリティ及び個人情報の適切な取り扱いの確保

【自治体の生産性向上】

- ① LGX推進に向けた組織・職員意識の変革
- ② LGX推進に向けたインフラ環境の整備
- ③ テレワーク等柔軟な執務環境の整備
- ④ ペーパーレス化の推進
- ⑤ 情報システムの標準化・共通化
- ⑥ デジタル活用による業務改革の推進



第1期の取組項目については、KPI達成状況や3か年の総括等を踏まえ、第2期に継続するか今後調整。

また国*や他都市の動向等を踏まえ、新規に取り入れるべき取組項目も併せて検討する。

国の動向：デジタル庁策定「デジタル社会の実現に向けた重点計画」、総務省策定「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画（第2.3版）」、「人材育成・確保基本方針策定指針」等

第二期

【デジタル活用による市民サービスの向上】

- ① フロントヤード・バックヤード改革の推進（主にフロントヤード）
- ② データ利活用
- ③ マイナンバーカード利活用
- ④ デジタルデバйд対策
- ⑤ セキュリティ及び個人情報の適切な取り扱いの確保

【自治体の生産性向上】

- ① フロントヤード・バックヤード改革の推進（主にバックヤード）
- ② データ利活用（序内データ）
- ③ DX人材の確保・育成の推進
- ④ 情報システムの標準化・共通化
- ⑤ 子育てDX
- ⑥ 公金収納・支出DX

【職員のエンゲージメント向上（貢献意欲・働きがい）】

- ① テレワークの推進等働き方改革の推進



イメージ(今後作成)

各委員からの取組発表

